

外郭団体基本情報

【監理団体用】

1. 団体概要

2024年3月31日現在

団体名	一般財団法人町田市文化・国際交流財団		
法人番号	4012305001511		
所在地	町田市森野2-2-36		
電話	042-728-4300	FAX	042-729-6730
ホームページアドレス	http://www.m-shimin-hall.jp		
代表者	理事長 高橋 豊		
設立年月日	2004年4月1日		
設立根拠法令	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律		
団体設立後から現在に至るまでの主な経緯	地域に根差した国際交流の推進を目的として町田市が設立した町田国際協会(1998年7月18日設立)と、市民ホールの管理運営、市民の芸術、文化の発展に寄与するという目的で町田市が設立した町田市文化公社(2000年4月設立)の2つの団体がそれぞれ法人化を目指していたが、都内で1つの団体として法人化する事例があり、またその有用性を示す調査結果を得たことにより、当該2団体を統合して、2004年4月1日に財団法人町田市文化・国際交流財団が設立されるに至った。		
設立目的	地域文化を創造し、その発展を図るとともに、市民文化活動充実のための支援と地域における国際交流活動の推進を図り、もって文化の香り高く国際感覚豊かなまちづくりに寄与することを目的とする。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化及び市民文化の向上に関する事業 ・町田市が設置する文化施設等の管理運営に関する事業 ・地域における国際交流活動の推進事業 ・その他この法人の目的を達成するために必要な事業 		
情報公開制度の有無	有	個人情報保護制度の有無	有
市所管課	文化スポーツ振興部文化振興課		
外部監査の実施状況			
実施体制	なし		
実施内容(又は実施しない理由)	市の包括外部監査等の対象となるため		

2. 資本金等

2024年3月31日現在

資本金・基本金	3,000千円	うち市の出資・出えん金	3,000千円	市出資・出えん割合	100%
市出資出えん金額の根拠	一般財団法人を設立する際に拠出する財産の最低限度額(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第153条第2項にもとづく)				
市以外の主な出資者	※出資者には、社会福祉法人の寄付者も含まれます。				
名称	出資額	出資率			
なし					
市の損失補償	0千円	市の借入保証	0千円		

3. 財務状況

(1) 貸借対照表

単位:千円

項目	2021年度	2022年度	2023年度	対前年増減比(%)	備考 ※増減の理由等
総資産	121,717	182,702	195,915	7.2	
流動資産	117,649	177,390	185,196	4.4	
流動資産以外の資産	4,068	5,312	10,719	101.8	職員PC更新等による固定資産増加
負債	53,095	100,813	119,739	18.8	
流動負債	41,499	89,173	106,989	20.0	
固定負債	11,596	11,640	12,750	9.5	
うち借入金	0	0	0	0.0	
正味財産合計	68,622	81,889	76,176	▲ 7.0	
一般正味財産	65,622	78,889	73,176	▲ 7.2	

(2) 正味財産増減計算書

単位:千円

項目	2021年度	2022年度	2023年度	対前年増減比(%)	備考 ※増減の理由等
経常収益	417,239	448,843	550,810	22.7	
うち市補助金	19,000	29,200	19,200	▲ 34.2	
うち市委託料	300	447	460	2.9	
うち市指定管理料	316,271	335,121	368,240	9.9	
経常費用	408,020	424,118	555,747	31.0	
経常増減	9,220	24,725	▲ 4,937	▲ 120.0	職員PC更新等による固定資産増加
特別利益	0	0	0	0.0	
特別損失	0	0	0	0.0	
当期増減(税引後)	6,946	13,267	▲ 5,714	▲ 143.1	

※各団体が準拠すべき会計基準等により、下記のとおり読み替える。

[会社法人] 経常収益→売上高(又は営業収益)+営業外収益 経常費用→売上原価+販売費+一般管理費+営業外費用

[公益法人] 経常収益→一般正味財産増減の部の経常収益 経常費用→一般正味財産増減の部の経常費用

特別利益→一般正味財産増減の部の経常外収益 特別損失→一般正味財産増減の部の経常外費用

当期損益→当期一般正味財産増減額

[社会福祉法人] 経常収益→サービス活動収益+サービス活動外収益 当期損益→当期活動増減差額

[土地開発公社] 経常収益→事業収益+その他経常収益 経常費用→事業原価+販売費及び一般管理費+その他常費用

(3) 財務指標

単位:%

項目	2021年度	2022年度	2023年度	備考 ※増減の理由等
① 自己資本比率〔純資産/資産×100〕	56.4	44.8	38.9	
② 借入金依存度〔借入金負債/資産×100〕	0.0	0.0	0.0	
③ 流動比率〔流動資産/流動負債×100〕	283.5	198.9	173.1	
④ 経常収支比率〔経常収益/経常費用×100〕	102.3	105.8	99.1	
⑤ 当市補助金比率〔市補助金/経常収益×100〕	4.6	6.5	3.5	
⑥ 当市貸付金比率〔市貸付金/資産×100〕	-	-	-	
⑦ 当市委託料比率〔市委託料/経常収益×100〕	0.1	0.1	0.1	
⑧ 当市指定管理料比率〔市指定管理料/経常収益×100〕	75.8	74.7	66.9	

※②の借入金には、当市貸付金も含まれます。

(4) 当該団体への財政的援助

単位:千円

項目	2021年度	2022年度	2023年度	備考 ※増減の理由等
① 補助金(助成金)・交付金・負担金	19,000	29,200	19,200	2022年度文化芸術活性化事業補助金10,000千円
② 利子補給金	0	0	0	
③ 貸付金残高	0	0	0	
④ 損失補償・借入保証契約に係る債務残高	0	0	0	
⑤(参考) 委託料	300	447	460	
⑥(参考) 指定管理料	316,271	335,121	368,240	市民ホール改修工事休館からの再開

①補助金(助成金)・交付金・負担金のうち、特定の補助対象者となっているもののみ記載

1	補助金名	一般財団法人町田市文化・国際交流財団補助金		
	補助金の内容	地域における国際交流活動を推進するため、以下の事業を行う。 ①外国人支援事業②国際理解・協力事業③国際交流事業④情報提供・連携事業		
	補助金の積算根拠	補助金交付要綱に定められた補助対象事業に要する対象経費(人件費、諸謝金、委託費、消耗品費等)の合計額(予算範囲内)		
	補助額(千円)	2021年度 19,000	2022年度 19,000	2023年度 19,000

⑤(参考)委託料のうち、特命随意契約によるもののみ記載

1	委託名(随意契約)	町田薬師池公園四季彩の柱におけるイベント支援業務委託(観光まちづくり課)		
	委託の内容	薬師池公園四季彩の柱エリアの魅力PR及び観光まちづくりの担い手と態勢づくりの推進のため、来園者に茶道体験を提供する。		
	随意契約の理由	市民文化活動の支援を主な業務としており、必要備品を所持、貸出し等も行っている。また、数多くの類似イベントの実施経験も持つ唯一の団体であるため。		
	委託料(千円)	2021年度 -	2022年度 -	2023年度 180
2	委託名(随意契約)	ホストタウン関連イベント実施業務委託(文化振興課)		
	委託の内容	ホストタウンになっている南アフリカの野生動物やサファリの映像や講演を通じて、同国の文化に触れる機会を提供する。(映像と講演イベント業務)		
	随意契約の理由	本業務は南アフリカ文化に市民が触れる機会を提供するとともに、ホストタウンに関する取組みの普及啓発に繋げることを目的としている。町田市の文化施策及びホストタウンに関する豊富な知識と、イベントの実践経験を以って本業務の目的を遂行できる唯一の団体であるため。		
	委託料(千円)	2021年度 -	2022年度 -	2023年度 170
3	委託名(随意契約)	地産地SHOWコンサート運営支援業務委託(文化振興課)		
	委託の内容	市ゆかりのアーティストによる、クラシック音楽の演奏に触れる機会を提供する。(会場設営及びコンサート運営業務)		
	随意契約の理由	市民が気軽に文化芸術に触れ、町田市の魅力を発見するきっかけづくりを目的としている。町田市の文化振興及び市ゆかりのアーティストに関する豊富な知識と、イベントの実践経験を以って本業務の目的を遂行できる唯一の団体であるため。		
	委託料(千円)	2021年度 -	2022年度 -	2023年度 110

⑥(参考)指定管理料のうち、非公募によるもののみ記載

1	指定管理施設名	なし		
	指定管理の内容			
	非公募の理由			
	指定管理料(千円)	2021年度	2022年度	2023年度

(5) 当該団体へのその他援助の内容(公有財産の使用許可等)団体の活動に必要な資産の状況

区分	所有形態	内容(建物名称、取得経緯、公有財産使用許可理由など)
土地	公有財産	
建物	公有財産	町田市民ホールの一部及び町田市民フォーラムの一部:使用許可
設備	自己所有	

(6) その他

① 適用会計基準等の状況

適用会計基準	公益法人会計基準
財務諸表の確認	公認会計士である監事及び顧問の税理士により確認を受けている

② 経営環境の変化に関する今後の見通し

外部要因によるもの	物価上昇、最低賃金の改定等により、コストの増加が予想される。また、新型コロナウイルス感染症の心理的影響により客足が伸びず、収益の減少が見込まれる。
内部要因によるもの	コストの増加を利用料金等の価格に転嫁することが難しく、支出は増えるものの収益が追いつかない可能性がある。

③ 資産運用の方針と状況

元本保証があり安全性の高い資産運用を行っている。

④ 引当金の状況

名称	内容	規程有無	残高(千円)
退職給付引当金	将来支払われる退職金の内、当期分の費用を見積計上	無	12,750

⑤ 収支の改善に向けた取り組み ※補助金が削減された場合の方策を含む

収入増加の方策と実施状況	入場料収益増加のため、入場券のセット販売など販売方法の見直しを検討、映画上映会などを継続的に開催し、顧客のリピート率を高める。
経費削減の方策と実施状況	人件費削減のため、勤怠管理で残業時間を可視化、抽選会のシステム化、作業手順を職員全体で共有など、業務効率化を図る。

4. 役職員数

単位:人

項目	2021年度	2022年度	2023年度	備考 ※増減の理由等
役員	9	9	9	
理事・取締役	7	7	7	
うち市あて職	2	1	1	
監事・監査役	2	2	2	
うち市あて職	0	0	0	
正職員	21	20	23	嘱託職員の正職員転換等による
うち市からの派遣	0	0	0	

5. 主要事業の内容と評価

①	事業名		事業内容		
	市民ホール事業		○ホール等の施設及び附属設備の貸出し○市民の芸術文化の向上のため、文化事業を市民が主催あるいは参加する機会を提供する。また、音楽公演、古典芸能などの文化事業を実施し、市民に提供する○ホール等の各種点検業務を行い、維持管理を行う。		
	事業費 (単位:千円)		2021年度	2022年度	2023年度
			187,034	134,312	291,819
指標:市民ホール施設利用率(単位:%)		目標	70	66	68
		実績	48	49	54

②	事業名		事業内容		
	鶴川ポプリホール事業		○ホール等の施設及び附属設備の貸出し○市民の芸術文化の向上のため、文化事業を市民が主催あるいは参加する機会を提供する。また、音楽公演、古典芸能などの文化事業を実施し、市民に提供する。○ホール等の各種点検業務を行い、維持管理を行う。		
	事業費 (単位:千円)		2021年度	2022年度	2023年度
			187,609	229,185	216,557
指標:鶴川緑の交流館施設利用率(単位:%)		目標	75	66	68
		実績	60	69	63

③	事業名		事業内容		
	国際交流事業		○生活相談、日本語教室、通訳又は翻訳の実施その他の外国人支援に関する事業○外国人と市民との交流の実施その他の国際交流に関する事業○講演会、小学校及び中学校における国際理解教育の実施その他の国際理解に関する事業○広報誌の発行、ホームページ等による情報提供に関する事業		
	事業費 (単位:千円)		2021年度	2022年度	2023年度
			24,006	31,352	32,987
指標:国際交流センター会員数(単位:人)		目標	-	-	-
		実績	174	342	447

団体の自己評価

2023年度は、SNS(X)を活用した情報発信や、事業ポスターの駅貼りや車内中吊り広告、市の広報課のプレスリリースの活用など、若い世代や働き世代へのアプローチとして、新しい手段による広報の拡大に努めた。それにより新たな世代の反響も大きく、入場者数にも反映されてきている。事業広報にとどまらず、施設利用についても、更なる利用促進につながるよう広報活動を行うことが今後の課題と思われる。お客様利便性向上の点では、キャッシュレス時代に合わせた支払方法の拡充や、Wi-Fi環境整備、鶴川緑の交流館駐輪場の全面改修、レストラン・カフェの提供メニューの充実など、時代に則した環境で安全かつ快適に、より多く施設をご利用していただけるように努めた。今後更に魅力のある施設を実現するため、市民ホール・和光大学ポプリホール鶴川両館のノウハウの相互提供や連携を積極的に行い、2024年度新しく始動する「まちだアーティストバンク」「まちだステージ応援プログラム」など、市民へ新たなサービスや文化芸術に触れられる場を提供していきたい。また国際交流事業では、市内に居住する外国籍市民の増加に対応すべく、新規会員獲得に向けた活動紹介イベントを催し、前年度より30%増員となった。対面の他にオンラインによる日本語教室等の支援を継続し、25回記念町田発国際ボランティア祭り『夢広場』等で多くの方と交流を深めている。

市所管課の評価

指定管理施設の運営は、市民ホールはNHKの公開収録公演及び宝くじ文化事業等安価で良質な公演を実施したり、プロのアーティストと市内小中学生とが共演する事業を実施する等の取組を行い、2022年度より施設利用者数の増加につながったことは評価できる。休館中の市民ホールの代替会場の役割を終えた鶴川緑の交流館ホール等は、施設利用者数及び利用率は減少したものの、ワークショップ等の体験型事業や人気声優の朗読公演等新しい顧客層の獲得に向けて取り組む姿勢は、今後の成果に期待したい。国際交流事業は、対面での事業が再開できていることや、ボランティア募集のためのイベントを実施したことなどにより、会員数が増加したことは評価できる。増加する外国人住民への対応として、ボランティアの統率を図り、主体的に運営の見直しに取り組まれない。財政面においては、市民ホールの施設再開に伴い事業収入及び利用料金収入の増加で決算の収支は黒字となり、財政・収支状況の安定化を図っている。

同様の役割を担う類似団体や企業の存在の有無

町田市内の各文化団体との関係性を構築している強みを生かして、町田市の文化芸術や市民文化の向上に貢献していることや、文化と国際交流の相互連携により、相乗効果を発揮した事業の展開を期待できる団体の存在はないと考える。

6. 当該団体への監査、外郭団体監理委員会による評価の結果※直近3カ年。ただし、未対応のものは除く。

(1) 指導監督の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・評議員会及び理事会への参画 ・補助金等の予算の執行に関する規則第26条に基づく調査(町田国際交流センター)

(2) 外郭団体監理委員会の評価結果

意見内容	改善状況	
	改善の内容及び今後の方向性	進捗状況
① 利益が出た場合は市民への還元を検討するとともに、還元に関する一定のルールを作成を検討するよう指導されたい。	これまでも指定管理事業で大きな余剰が出ないよう、公演事業のチケット販売額を抑えるなど市民還元を行ってきた。今後はルールづくりについても検討するよう指導する。	対応中
② 施設利用者のニーズをきめ細かく把握するとともに、入場者数が目標に達しなかったことなど、結果の原因分析を適切に実施し、施設の利用者及び収入の増加に努めていただくよう指導されたい。	事業・施設満足度アンケート結果を分析し、事業計画及び施設運営に生かす取組を行っている。引き続きアンケート回収率の向上に努め、より詳細なニーズ把握を行っていく。	2023年度末完了
③ より多くの方が外国人支援事業を利用できるよう、市民部や市民病院等での窓口において案内等を行うなど、さらなる連携強化を図るよう指導されたい。	まずは、市民課及び各市民センター窓口にて、国際交流センターの案内チラシの配布できるよう市民部と調整していく。	2024年5月完了予定
④ 極力多様な事業で満足度調査を実施していただき、事業報告書には、主な事業のアンケートの集計結果を掲載することを検討するよう指導されたい。	自主事業(レストラン・カフェ)の満足度調査を行い、集計結果を事業報告書に記載しているが、国際部門の満足度調査については今後実施を検討する。	対応中
⑤ 不服申し立てにおける第三者の関与について、組織内部だけではなく、外部の方も付議に加わる検討をするよう指導されたい。	不服申し立て時の対応において、弁護士等からの意見を理事会で共有することとする。	2024年8月完了予定
⑥ 評議員会の議事録について、ホームページ等での公開を検討するよう指導されたい。	公開に向けて、公開基準の検討等の準備を行っていく。	2025年7月完了予定

(3) その他外部監査の評価結果

--

7. 市所管課所見(現状と課題、今後の取り組み、外郭団体の必要性)

<p>町田市が設置する文化施設である「町田市民ホール」及び「町田市鶴川緑の交流館(和光大学ポプリホール鶴川)」の指定管理者となり、芸術文化及び市民文化の向上を図るための事業を行っている。また、町田市民フォーラム内にある「町田国際交流センター」で町田市から補助金の交付を受けて、地域における国際交流活動の推進事業を行っている。</p> <p>これらの事業は、新型コロナウイルス感染症が第5類となったこと、及び主に市民ホールが、改修工事完了による施設再開で入場者数及び施設利用率の回復が見られるものの、町田市鶴川緑の交流館を合わせた全体の実績は、指定管理者としての目標に届かない状況である。2023年度から開始したSNSや市との連携による広報の拡充により、入場者数の向上に努められた。さらに、文化団体が施設を利用しやすくする仕組みを構築することで、利用率向上にも取り組まれない。</p> <p>芸術文化及び市民文化の向上を図るための事業については、2022年度から、町田市民ホール、町田市鶴川緑の交流館及び町田市立鶴川駅前図書館(図書館運営業務除く)を一体的に管理していることを生かし、施設間連携事業等を行っている。引き続き両施設が相乗効果を生み出すよう積極的な取組を期待したい。</p> <p>地域における国際交流活動の推進事業については、外国人住民が増加傾向にあることから、適切な支援が提供できるよう市と協力しながら事業の見直しに向けて取り組んでいる。その中で、町田国際交流センターが活用できる国・都の補助金に関しては、積極的に活用されたい。また、将来を見据えて、現在の支援体制からの抜本的な変革を期待したい。</p>

【注記】

1. 金額について、千円未満の数値については、四捨五入しています。
2. 複数の欄の合計値を他の項目の数値と一致させる必要がある項目については、四捨五入を行ってずれが生じてしまう場合、適宜端数調整を行っています。